

ほけんだより 11 月号

朝夕寒さが増してきました。葉っぱの色が赤や黄色に変わり冬の足音を感じます。
秋から冬にかけて気温が低くなると、空気も乾燥し感染症が流行る季節がやってきます。予防接種や手洗い、うがいを徹底し、規則正しい生活に心がけ、感染を予防しましょう。



子どもに多くみられる 冬の感染症



①RS ウィルス感染症

症状 年長児では鼻水と咳のかぜ症状で済む場合がほとんどで、1歳未満特に3か月未満の乳児では、細気管支炎を起こし発熱や喘息を伴う呼吸困難の症状が急速に進行することがあります。寒い時期の乳児では症状の注意深い観察が必要、発熱や喘息が見られた場合が病院を受診する目安です。

②溶連菌感染症

症状 発熱のどの痛みと発疹が特徴です。咽頭炎や扁桃炎を引き起こしますが、熱は高熱とは限らず微熱のこともあります。舌の表面がぶつぶつするいちご舌も特徴です。適切な抗菌薬を10～14日観程度服用し、24時間以内に効果があらわれますが、処方された分は最後まで飲み切ります。途中でやめると再発や急性腎炎などを起こすことがあります。

③感染性胃腸炎（ノロウイルス、ロタウイルス）

症状 おもな症状は初減、嘔吐下痢です。軽い場合には嘔吐、下痢のみのことがあります。ロタウイルスでは米のとぎ汁のように白色下痢が見られます。感染性胃腸炎は感染力が強いので早目の受診をお勧めします。

ロタウイルスは3歳未満、ノロウイルスはすべての年齢で見られます。ロタウイルスに関してはワクチンがあります。感染した場合は脱水症状にならないように、水分補給を心がけます。下痢から回復するのに3～4日間かかることもあるので、食欲があるときは消化の良いものをとります。

嘔吐物、便の処理 処理をするときは換気をして、使い捨てマスク、手袋を着用します。ペーパータオルなどを吐物にかぶせ、上から0.1%次亜塩素酸ナトリウム溶液をかけて拭きとり、ビニール袋に（使用した手袋も）入れ密封して処分します。処理後手洗いは十分におこないます。

*0.1次亜塩素酸ナトリウム溶液とは、ペットボトルキャップ2杯分の原液を500mlのペットボトル1本分の水で希釈したものです。



10月の感染症

伝染性紅斑・・・3名
RS ウィルス感染症・・・1名
溶連菌感染症・・・2名
ヘルパンギーナ・・・1名



11月の予定

6(火) 視力測定 4、5歳児
8(木) 身体測定 (幼児)
9(金) 身体測定 (乳児)
30(金) 0歳児健診、秋の全園児健診未健診児